

# 一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

## 【JPCSA 通信 Vol.6】

2019年2月18日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。  
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

これまで配信しておりました JPCSA 通信につきまして、HTML 形式で作成していることにより、一部の会員様へ正しい内容をお届けできていなかったことが判明致しました。長い間、ご迷惑をお掛けしておりましたこととお詫び申し上げます。先日改善作業を行いましたので、今号からは正しく閲覧いただけるかと思っております。また、この件につきましてご報告いただきました会員様へは、改めて御礼申し上げます。なお、当会ホームページにて JPCSA 通信のアーカイブを公開致しておりますので、宜しければこちらをご覧ください。 当会のページ：<https://jpcsa.org/>

さて、今回は JPCSA 最新情報、農泊関連情報、賛助会員からのお知らせをお届け致します。

### <農泊関連情報>

#### ◆「北海道農泊イベント～北海道観光の復興～みんなで北海道の農泊を応援しよう！」のご報告

1月17日（木）に東京駅地下直結の「JPタワーKITTE」東京シティアイ・パフォーマンスゾーンにて、当会発起人の一社である百戦錬磨による「北海道農泊イベント～北海道観光の復興～みんなで北海道の農泊を応援しよう！」が開催され、当会も協力させていただきました。イベントでは以下のようなプログラムを行うとともに、北海道の物産品販売や観光のご案内を行い、多くのご来場者へ北海道の農泊の魅力をアピールする機会となりました。

##### 【当日のプログラム内容】

1. 主催者挨拶 株式会社百戦錬磨代表取締役 上山 康博氏
2. 関係者挨拶 農林水産省 農村政策部長 高橋 孝雄氏
3. 関係者挨拶 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 英 浩道氏
4. 基調講演  
『イギリスの農泊の取組について ～イギリスから見た北海道の農泊の良さ～』  
ファームステイ UK 代表 スティーブ・ハリス氏
5. 特別講演  
『香港旅行会社からみた北海道の農泊パッケージ旅行の魅力』  
JAL サテライトトラベル株式会社 代表取締役社長 藤田 亘宏氏
6. 北海道農泊実践者等の観光 PR・農泊の取組プレゼンテーション  
小平町、鶴居村、八雲町、留萌市、七飯大沼
7. パネルトーク

## 『専門家が語る！北海道農泊の魅力と2019年農泊の展望』

司 会：東洋大学名誉教授 青木辰司氏

パネリスト：

ファームステイ UK 代表 スティーブン・ハリス氏

一般社団法人日本ファームステイ協会会長理事 平井 伸治氏

株式会社テレビ東京コミュニケーションズ代表取締役社長 大島 信彦氏

NPO 法人やくも元気村事務局 赤井 義大氏

今回は上記プログラムのパネルトークの内容について、ご紹介させて頂きたいと思っております。

- ・ イギリスでは日本と比較し B&B 型の宿泊施設が多いが、伝統的な食の習慣が薄れてきている中で、食の体験ができる施設は人気が出てきている。宿泊と共に食事が楽しめる日本の農泊は、外国人にとっても魅力的である。日本では泊食分離の取り組みも推進されているが、民泊で食事を提供することで、その分の収入を得られるメリットもある。
- ・ イギリスでは、宿泊を受入れる側が顧客の質を一定に保つための対策をとっている。過去の滞在中に飲酒トラブルや、設備破損などの問題行動を取った顧客は、その後宿泊施設間で評価が共有され、予約が取れなくなるなどのシステムが構築されている。
- ・ 日本人向けの農泊においては、二次交通の問題がよく挙げられるが、ヨーロッパではレンタカーで移動し、ファームステイを楽しむスタイルが一般的であるため、日本のインバウンド旅行者にとって交通のハードルは、思っているより低いかもしれない。
- ・ ヨーロッパなどのインバウンド旅行者は、長期滞在型が一般的である一方、日本の農家民泊などの受入側は、長期受入れとなると負担を感じてしまいがちである。農泊は「生活のおすそ分け」という思考で、受入側の負担を軽くする必要がある。ヨーロッパ人は、何もない場所で何もしない滞在が基本。一緒にスーパーへ行って、日本の日常の食事を作って食べるだけでも素晴らしい体験とじてもらえる。
- ・ 日本の地方では、人手不足が深刻な問題となっているが、今後は外国人を取り込み一緒に新しいものを創り出したり、作業をしてもらったりしながら交流する貢献型観光も関係人口増加の可能性を秘めている。



基調講演  
ファームステイ UK 代表  
スティーブン・ハリス氏



特別講演  
JAL サテライトトラベル株式会社  
代表取締役社長 藤田 亘宏氏



農泊の取組プレゼンテーション  
NPO 法人やくも元気村



農泊の取組プレゼンテーション  
七飯大沼農泊観光推進協議会



パネルトーク



パネルトーク



物産品販売



物産品販売

ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

当会は今後も農泊に関わるイベントや研修に積極的に協力していくとともに、ホームページにてご案内致しております農泊相談所にて、随時ご相談を承っております。

イベント開催をご検討中の皆様、農泊の体制整備に課題を抱えていらっしゃる皆様、ぜひお気軽にお問い合わせください。

農泊相談所のページ：<https://jpcsa.org/concierge/>

#### ◆インバウンドマーケット EXPO 2019 へ参加のお知らせ

2月19日（火）から22日（金）まで、東京ビックサイト東展示棟7ホールにて、インバウンドマーケット EXPO 2019 が開催されます。

こちらの EXPO では、インバウンドや地方創生に向けた商材が展示されるとともに、インバウンド市場の最前線で活躍される方々によるセミナーが同時開催され、当会品質認証支援研究所所長であり東洋大学名誉教授の青木辰司氏と、上山代表理事もパネルディスカッションにて登壇致します。

日 時：2月21日（木）13：00～13：45

タイトル：ファームステイで地方創生～農泊最前線～（仮）

ファシリテーター：青木辰司氏

パネリスト：上山代表理事、Inaka Tourism 推進協議会会長、  
美杉リゾート代表取締役 中川 雄貴氏

お近くにお越しのご予定がございましたら、是非ご来場ください。

インバウンドマーケット EXPO 無料セミナーのページ：

<https://www.jma.or.jp/ime/seminar/>

#### ◆農林水産省「農泊推進のあり方検討会」への参加と公開資料のご案内

農林水産省は昨年12月25日（火）より、農泊の更なる受入体制強化とインバウンド受入拡大に向け、必要な取り組みを明確化させるとともに、今後の農泊推進施策について検討する目的で「農泊推進のあり方検討会」を開催しており、この会へは、当会の上山代表理事も委員として参加しております。

第1回目の検討会にて使用された農林水産省および観光庁の資料が公開されておりますので、お知らせ致します。

農林水産省の資料（資料1、資料2）には、農林水産省としてのこれまでの都市農村交流への取り組みのほか、農泊交付金活用中の地域の現状調査についてまとめられており、観光庁の資料（資料3）には、インバウンド旅行者の地方観光増加や滞在中の活動についての調査結果が記載されていますので、ぜひご覧ください。

農泊推進のあり方検討会（第1回）資料一覧のページ：

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhaku/arikata.html>

## <農泊関連情報>

#### ◆『平成31年度農山漁村振興交付金の公募』が開始されました！

先日も速報版にてお知らせ致しましたが、農林水産省 平成31年度農山漁村振興交付金の公募が2月1日（金）より開始されました。

公募期間は平成31年2月1日（金）～平成31年3月15日（金）までです（郵送も同日必着）。

今回は『農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業、人材活用事業及び施設整備事業）』に加え、『農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊地域高度化促進事業）』が新たに公募されています。この地域高度化促進事業は、農泊推進事業においてインバウンドに取り組みられてきた地域が応募できる内容となっており、インバウンド対応の更なる高度化を促進することを目的としています。

詳細につきましては、以下に記載いたします農林水産省公募ページをご確認ください。

- ① 農林水産省 平成31年度農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業、人材活用事業及び施設整備事業）の公募ページ：  
[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190201\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190201_1.html)
- ② 農林水産省 平成31年度農山漁村振興交付金（農泊推進対策（農泊地域高度化促進事業））の公募ページ：  
[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190201\\_2.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190201_2.html)

なお、農山漁村振興交付金、農泊の取り組みに関するご相談がございましたら、本会農泊相談所までお気軽にご連絡ください。

農泊相談所お問合せフォーム：<https://jpcsa.org/contact/>

## <賛助会員からのお知らせ>

### ◆インバウンド対策、ネット集客でお困りの地域のみなさまへ

#### 株式会社百戦錬磨『集客コンシェルジュ』のご紹介

農泊に取り組まれている地域の方々が抱える課題として、受入体制は整えたがネットを使った集客ができない、インバウンドの対策ができていない、期待しているほどの集客がない、ネットや外国語ができる人材がいない、人手が足りない、などの声がよく挙げられています。

この課題を解決するために、株式会社百戦錬磨では『集客コンシェルジュ』というサービスをご提供しております。サービス内容は以下の2つになります。

#### 1. インターネット集客・販売代行

- ・ 百戦錬磨が運営する予約サイト「STAY JAPAN」のほか、大手海外予約サイト等を活用し、集客の最大化
- ・ 体験メニューの販売
- ・ 施設オーナー様のご希望に応じた多言語問い合わせ対応
- ・ 施設オーナー様のスケジュールを元に申込を一元管理（電話・FAX 等も対応）

#### 2. 運営安心サポート

- ・ 民泊や農泊に精通した専任担当制（コンシェルジュ）
- ・ オーナー様、旅行者様双方に対応する民泊保険の付与

こちらのサービスを導入いただくことで、「稼働率が3ヶ月で30%アップした」、「専任スタッフ1名を採用した場合に比べ運用コストが10分の1まで削減できた」など、確実な実績を生み出しております。また、はじめての宿泊業を営むことについて様々な不安を抱えていた方も、専任コンシェルジュから細やかなサポートを受けることにより、安心して受け入れを楽しめるようになったとのお声もいただいております。

#### ■百戦錬磨担当者のコメント

「集客コンシェルジュ」では、集客はもちろん、施設オーナー様のご希望に沿ったプランを一緒に考えてまいります。例えば、こんな方を受け入れたい、本業と並行して宿の運営をしたいなど、オーナー様が考えるターゲットの設定やご本人のライフスタイルを考慮した上で、全国の施設運営代行の中で得たノウハウを活用したアドバイスをさせていただきます。パソコンの操作に不慣れな方には、お電話やFAXでのやり取りも可能です。皆様と一緒に地域と旅行者との「出会い」をサポートしてまいりますので、お声がけいただければ幸いです。

民泊・農泊のオーナー様に限らず、民宿やゲストハウス、旅館、ホテルオーナー様へも対応させていただいておりますので、皆様の周りにお悩みの方がいらっしゃいましたら、ぜひ百戦錬磨の集客コンシェルジュをご紹介ください。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

百戦錬磨 集客コンシェルジュのページ：<https://www.hyakuren.org/concierge/>

---

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

当会では随時会員を募集しております。

皆様の周りに農泊に取り組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご

紹介いただけますと幸いです。

ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、こちらのメールマガジン上で、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修の告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL:03-3526-2493 / FAX:03-3526-2494 )

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail：[info@jpcsa.org](mailto:info@jpcsa.org)

=====